

01

⑥を追加しました

「学校再編にあたっての基本的な考え方」⑥の追加について

学校の再編にあたっての基本的な考え方

資料 2

前提 1

これからの教育を実現するための検討

①「令和の日本型学校教育」

子どもたちの多様化

先進国が  
抱える子ども

特異な才能  
の子ども

不登校、  
不登校傾向  
の子ども

施設環境の  
違い（リフト  
サテライト）

外国人  
児童生徒

など

「個別最適な学び」 その子に合った学習ができる学校

「協働的な学び」 多様な他者と協働できる学校

の整備が必要。

②「門真のめざす教育」

門真のめざす子ども像

「将来の自立をめざして自分の生き方を見つける子ども」

「縁のつながり」(異年齢・大人など)

「横のつながり」(子ども同士・地域)

「将来の自分とのつながり」(縦・横のつながりの中で実現していく将来の自分とのつながり)

9年間という連続性  
の中で子どもたちを  
育てていく視点に立ち、  
小中一貫教育をより  
一層進めていくことが  
必要。

優先順位 2

児童生徒数を考慮した検討

児童生徒数が今後も減少する見込みの中、子どもたちが  
多様な人間関係の中で学び、人とのつながりを創るためには、  
一定数の児童生徒がともに学び、「横のつながり」の中で育つ  
環境が必要となる。既に単学級になっている、また、  
将来的に単学級となることが見込まれる場合  
などについては、速やかな検討が必要。

優先順位 3

老朽化した校舎への対応

高度成長期の人口急増に合わせて、同時期に建設された門真の  
学校は、そのほとんどが建設後、50年以上が経過して  
いる現状があり、建替えや改修を検討する時期にもなっている。  
快適で楽しく過ごせる場所としてのこれからの学校づくりを考えるにあ  
たっては、学校施設の築年数や過去の大規模改修の  
状況等を考慮した検討が必要。

全体像 将来像 4

今後のまちづくりを考慮した検討

今後大きく門真のまちづくりが進む予定であり、  
エリアによっては、未就学児や児童生徒の増加、  
または、現在の推計よりも減少しない可能性が  
ある。これらの可能性も踏まえた上での検討が必要。

全体像 将来像 5

学校の変遷を踏まえた検討

門真の小学校は、旧村の4つの小学校（門真小  
学校、大和田小学校、四宮小学校、二島小学校）  
から分離設置されてきた歴史や、これまでの再  
編の経緯なども考慮しながらの検討が必要。

全体像 将来像 6

校区再編

門真市全体の学校の将来像を踏まえた検討

②児童生徒数、③校舎の老朽化 を対象となる校区  
や学校だけでなく、④まちづくり、⑤学校の変遷も踏まえ、  
門真市全体の学校の将来像を見据えた  
再編統合の検討が必要。その上で、学校だけ  
でなく、必要に応じて、校区の再編についても  
あわせて検討が必要。

- ①～⑤を踏まえ、門真市全体の学校の将来像を検討する
  - その中で必要に応じて、校区の再編も検討する
- ⑥として追加しました。

02

門真市の人口の増減について

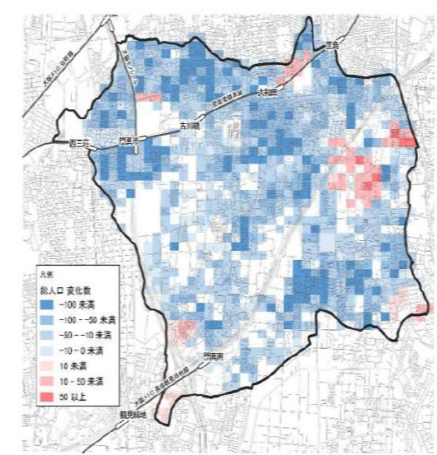
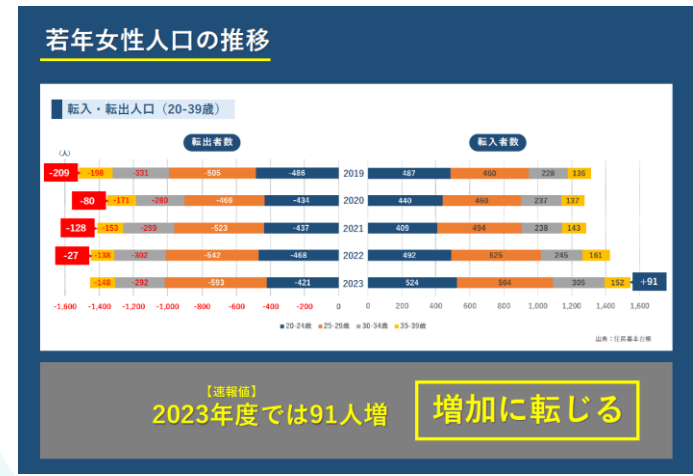


図 2.7 人口分布の増減(平成 27 年から令和 22 年)

- 全体的には減少傾向。
- 一部、人口が増える予想のあるエリアなどもあるが、高齢化率は上昇しており、人口が増加する＝子どもの数も増えるとは言えない状況。



最新の速報値  
(R 5 年度)  
では、若年女性  
人口は、増加  
傾向。  
子育て支援の  
施策やまちづく  
りなども関係か。

門真市立学校のあり方について（ワークショップ）



【Aグループで出た意見】

A

最終形（1小1中）⇒めざす将来像



Aグループは、令和20年ではなく、最終的な形から逆算して考えた。



再編する上で大切にしたいのは163号線。子どもの安全面は大切。



最終的には市内で1小1中に。そのために、それまでは、校舎に手を入れる程度にしてはどうか。



最終的な形をベースに、学級数や校舎がどうにもならない際は、それを見据えて、校舎を建てるみたいな考えはあってよい。



会長

今すぐに1小1中で収めるのは難しいかもしれませんが、意見が出ていた、163号線を境界として、1つの学校区を考え、上側とした側である程度のまとまりをつくっていくといったことは、30年・40年後はひょっとしたらあり得る話だと思います。その時まで、たとえば水桜なのか、それとも市内中央付近に新しい学校をつくるのかなど、少し大きな提案ですが、しっかりと見据えていかなければいけない話だと思いました。



03

門真市立学校のあり方について（ワークショップ）



B

優先順位 ⇒ めざす将来像（6校区それぞれに1小中一貫校）



【Bグループで出た意見】



【優先順位①】**二中校区の学校**がどの学校も古いので、一番先にきれいにしてあげたい。  
位置も考えて、沖小学校によい学校（統合校）を建ててはどうか。



【優先順位②】悩んだが、**三中の校舎**が古いので、小中を統合した学校を三中に建ててはどうか。



【優先順位③】**二島小**に学校を建てる。（30年後などのかなり先）遠い地区については「町」ごとに校区を変えられるようにしてはどうか。



【優先順位④】**五中が古くなる**ので、四宮北巢本の統合校か、統合校も含め、もう1回新しいものを建てるか。



通学については、**学校用のバス**を用意し、使用しない時間については、一般の利用客を乗せ、料金をいただくなどして、運営してはどうか。



**東小**から五中は遠いので、**(仮称)水桜学園**に通うように最終的にしてはどうか。



いずれにしても、今後、一貫校を建てるとすると、まもなく開校する**(仮称)水桜学園**は非常に重要になる。



四宮・北巢本小は隣接型の小中一貫校にする手もありますね。  
そして二中校区は大和田小や上野口小ではなく沖小を拠点とする案も、校地面積的に積層することになりそうですが、うまくいきそうな計画であると思いました。

会長



**高層化**ができるのであれば、みらい小に通学してはどうかと思っていた古川橋小についても、**大和田小・古川橋小・上野口小**といったまとまりで考えられるかもしれない。



### 門真市立学校のあり方について（ワークショップ）



## 【Cグループで出た意見】

C

優先順位 ⇒ めざす将来像  
(新たに門真小・沖小・二島小校区にそれぞれ小中一貫校)

門真小校区周辺（門真小・速見小・三中）をブランド化してはどうか。その上で、ファミリーマンションなどを誘致して、若い人が住みやすいようにするのはどうか。



どこの校区も交通網の問題が出てくる。そこで、小3くらいまでの児童は、幼稚園の「園バス」などを利用させてもらうのはどうか。



小中一貫校はよいが、いじめの対応が難しくなるかもしれない。そこで、地域と連携した取り組みや積極的に地域の人を学校の中に入れるようなことも検討するとよい。



門真小校区周辺で人が集まるような魅力的なリーディングスクールを1校、一方、水桜は学習面でのリーディングスクールとして運営といった、まちづくりと整合したアイデアが面白いと思いました。



会長

Cグループは、  
優先順位①が門真小校区周辺  
優先順位②が沖小校区周辺  
優先順位③が二島小校区周辺  
でした。

門真小校区周辺に魅力あるリーディング校をつくるというお話でしたが、例えば、校区をとらわれずそこに行きたいという人がいた場合はどう考えますか。



そのような考え方を実現するのもありかもしれません。